



☆ 夏休みの過ごし方 ☆



久米島高校生徒支援部
生徒配布用資料

×危険回避×

- 「非行の入り口」、重大事件の多くが深夜。
- 生活リズムが崩れ、健康に悪影響。

↓ ★ヒント★

- 日中を楽しんで、夜はしっかり休もう。
- 夜型社会から自分を守る気持ちを持とう。

1. 深夜はいかい



×危険回避×

- 飲酒の場から傷害事件に発展することもある。
- SNSを介し、大麻が高校生に忍び寄っている。

↓ ★ヒント★

- タバコもお酒も、ダメなものは、きっぱり断る。
- 薬物に手を出すと、あなたの大切な人も悲しみ、傷つけてしまいます。ダメ！ゼッタイ！！

2. 喫煙・飲酒・薬物



×危険回避×

- 軽率な投稿で、他人を傷つけるケースも。
- 「スマホ副業」勧誘で、気づけば加害者に。

↓ ★ヒント★

- 著作権やプライバシーの侵害に注意しよう。
- スマホ副業の勧誘などは、慎重に考えよう。

3. 情報モラル



×危険回避×

- 自撮りを要求し、拡散されるケースも。
- 軽率な撮影は、盗撮になることもある。

↓ ★ヒント★

- 困ったら、警察に相談しよう。
- 電話相談できる窓口もあります。（#8891）

4. 性被害・加害



×危険回避×

- 差別意識により他人を傷つけることも。
- いじめが深刻化し、重大な事態に至ることも。

↓ ★ヒント★

- 共生社会に向けて、人権感覚を磨こう。
- 犯罪となるいじめは警察に相談できます。

5. 人権・いじめ



×危険回避×

- 労働条件に問題のあるブラックバイト問題。
- 特殊詐欺の「受け子」などの闇バイト問題。

↓ ★ヒント★

- 労働基準法を確認し、大人への相談も考えよう。
- 闇バイトは、個人情報などの弱みを握り、やめられない状況に追い込む。絶対に関わらないこと。

6. ブラックバイト



×危険回避×

- 夏は海難死亡事故が多発します。
- 毎年、交通事故により高校生の命が失われています。

↓ ★ヒント★

- 遊泳禁止区域で泳がない。（離岸流の危険性）
- 車両を使うときは安全第一で！交通死亡事故ゼロを目指し、「スピードの誘惑」に断固NO！！

7. 事故（車両・海難）



×危険回避×

- 令和4年の児童生徒の自殺者は512人で、過去最多。
- 報道、SNSの影響を受け、（群発）することも。

↓ ★ヒント★

- 信頼できる人に悩みを話してみよう。（電話窓口もあります。0120-0-78310 子供SOSダイヤル）
- 「今は苦しいかもしれないが、未来はわからない」

8. 自殺対策



詳しく知りたいとき・困ったとき・相談したいとき



1 深夜はいかい
(沖縄県HP_GO家運動)



2 飲酒（法務省資料）



2 大麻（警察庁資料）



3 情報モラル
(総務省資料)



4 性被害
(男女共同参画局)



5 人権・いじめ
(文部科学省相談窓口)



6 ブラックバイト（あなたのアルバイトは大丈夫？）



7 事故（令和5年度夏の交通安全県民運動）



8 自殺対策
(沖縄県の相談窓口)

「深夜はいかい」は、様々な問題行動の入口！ 子どもは家庭が一番！親子で居場所作りをしよう！

飲酒

喫煙

交通事故

性被害

薬物乱用

家出

事例紹介「家出から性風俗に斡旋された事例」（平成30年生徒指導の手引きより）

深夜はいかいを繰り返し、警察に何度も補導されていたA子は、学校も欠席が続いており、学校からの指導を何度も受けていた。親や学校からうるさく言われ続けることに嫌気がさしたA子は、神待ちサイト（家出した子を泊めてくれる場所を提供してくれる人をネット上で”神”と呼ぶことがある）で知り合った成人男性Bにアルバイトを紹介され、家に帰らなくなった。

Bから携帯電話を渡され、「ずっと泊まっていいから、この電話にお客さんから電話がかかってくたら、〇〇〇と答えてくれるだけでいい。」という簡単なアルバイトであることを説明され、それがエンコーの仲介みたいな仕事であったにもかかわらず、「自分がエンコーするわけでもないし」「泊まる所もあるし、その上バイト代ももらえる」と考え、そのアルバイトを引き受けてしまった。

何度も仲介の仕事をしていくうち、A子は次第に感覚が麻痺して「悪いことをしている」という感覚が薄れていった。やがてBから、「もう少しバイト代稼いでみない？」との誘いが…

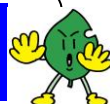


●「家～なれ～運動」実施中！

- 沖縄県では、「家～なれ～運動」を推進しています。家庭でのしつけや習慣が、外に出たときのかがみになるよう「や～なれ～る んかなれ～」を実践していきましょう。
- 「基本的な生活習慣を身につけましょう」
- 「家族のコミュニケーションを大切に」
- 「家族のルールを話し合おう」
- 「家庭学習の習慣を、家庭を学びの環境に！」

●在宅確認と酒類の管理を！

- 夜間における子どもの在宅確認をお願いいたします。
- 子どもの集団飲酒は、家庭にある酒類の持ち出しが目立ちます。（自宅にある酒類の管理徹底を！）
- キャンプや宿泊を伴う野外活動や海水浴等は、必ず保護者等による協力のもとで行って下さい。



ネットやスマホ等を介する問題が増加中！ 自撮り・性被害！誹謗・中傷！薬物乱用！詐欺行為！依存症！

※「自撮り被害」とは、だまされたり、脅されたりして児童生徒が自分の裸体等の写真を、メール等で送られる被害のことをいいます。

●子どもをネット被害から守るための、保護者ができる3つのポイント

- ① 子どもの利用状況を把握し、適切にインターネットを利用させる。
- ② 子どもに持たせる機器には、フィルタリングを設定する。
- ③ 利用時間や家庭のルールを子どもと一緒に作る。

主な相談機関

親子電話相談「子育てダイヤル・子ども相談」 098-869-8753

子ども若者みらい相談プラザ「sorae」 098-943-5335

性犯罪被害者相談電話 #8103 または、0120-656-110